

日本共産党・里吉ゆみの勝利へお力添えをお願いします
6・3三茶街頭演説にお誘いあわせてご参加ください



小池晃書記局長



里吉ゆみ都議

- 里吉ゆみの勝利へ、あなたの力をお貸しください
- 里吉リーフやチラシを渡して、ご家族、お知り合いに支持を広げてください
- つどい、街頭宣伝などにお誘いあわせてご参加ください
- 「しんぶん赤旗」をご購読ください。購読してくれそうな方を紹介してください。
- 日本共産党の躍進・里吉ゆみの勝利へ、募金をお寄せください。

三茶街頭演説

6月3日(土)午後2時

三軒茶屋キャロットタワー前

農水大臣も国会で、「土壌汚染地の上に生鮮食品を取り扱う市場は想定していない」と答弁、築地市場の豊洲への移転などともないことです。

東京都は、豊洲移転を進めるため、①汚染土壌の除去・浄化②盛り土による遮断、を約束しましたが、共産党都議団の調査で盛り土がなされていないことが判明。今年3月には基準値の100倍ものベンゼンが検出され、「汚染物質はすべて除去・浄化することはできなかった」と発表。2つの約束が守られていないことが明確になりま

進んだ。豊洲移転は食の安全・安心から中止すべきです。

築地市場は、80年の歴史で、有害物質による食品汚染も、食中毒も一度もなく、安全性は証明済み。築地市場の再整備が一番現実的です。

自民党は「豊洲市場への早期移転」を都議選政策にかかげ、公明党も「豊洲移転に向け、着実かつ確実な前進に取り掛かるべきと強く要望」と小池知事に迫っています。

都民ファーストの会は、豊洲移転の態度を明らかにせず、推進の公明党と選挙協力。

里吉ゆみ都議は、都民のくらしと福祉第一の都政へと走り続ける、世田谷区にかけがえのない議員です。

認可保育園5万3千人分増設・保育の質の強化、私立高校生の授業料実質無償化、都立高校生の給付型奨学金の拡充、都議給与削減や政務活動費の10万円削減、費用弁償の廃止などを実現した豊かな実績です。

「お金のあるなしで命やかわれています。

「お金の差が政治は許しません」と3000円シルバーパス、特養ホーム2万人分増設、待機児ゼロなどの実現、交通不便地域にミニバス運行、大型道路計画の中止など、要求実現になくはならぬ。里吉都議です。

自民・公明は、1戸1億円の外環道を東名から世田谷区内を通って湾岸まで20キロ伸ばして、さらに2兆円の税金投入を狙っています。

都議選では、くらし・福祉優先か、大型道路優先かが問われています。

VS

豊洲移転を中止し、80年の歴史で安全が証明済みの築地再整備の共産党・里吉ゆみ

汚染物質で汚れ農水大臣もダメという豊洲へ移転の自民・公明

VS

都民のくらし・福祉第一の共産党・里吉ゆみ

大型開発・道路最優先の自民・公明



4・8演説会に会場一杯の500人が参加

「何としても里吉ゆみ勝利を」の決意と熱気



演説会で支援を訴える

「共産党の躍進・里吉ゆみの勝利で豊洲移転中止を」と呼びかけました。

里吉都議は「お金のあななしで命や健康、教育までが差別される社会は許せません。誰もが人間として尊重される政治をつくるのが私の原点」とのべ、

4月8日、里吉ゆみ都議の地元・烏山区民センターで開催した演説会は、招待状持参や送迎バスなどで500人が参加。満席で立ち見が出て、ロビーにあふれる大盛況でした。

里吉ゆみ都議は、森友問題など国政で共産党の活躍が注目され、期待が大きく広がっているとのべ、これにこたえて奮闘する決意を表明しました。

大争点となっている築地市場の豊洲移転問題について、「キッパリ豊洲移転を中止して築地で再整備を」と主張する日本共産党と、「ただちに豊洲移転を」と推進している自民・公明との対決になっているとのべ、都民の食の安全・安心から、

つくるのが私の原点」とのべ、保育園の増設、高校生の授業料の無償化や給付型奨学金制度の実現、障害のある子どもたちの学校の教室不足の解消など豊かな実績を紹介。「高齢者福祉の拡充や都民のくらしの改善に全力でとりくむ」と、特養ホーム2万人分の増設、3千円のシルバークラスの改善や少人数学級、区内の交通不便地域にミニバス、中小業者の営業とくらしを守ることなど公約を語りました。

笠井亮政策委員長・衆院議員が、森友問題や共謀罪、核兵器禁止条約の国連会議について報告。「里吉ゆみさんという宝の議席を再び都政に送り出してください」と熱く訴えました。

里吉ゆみ 私のあゆみ②

中学・高校時代

足の治療が終わった私は、当時はやっていたテレビアニメの影響か、背が高かったこともあり、バレーボール部に入部しました。レギュラーにはなれませんでした。が、中学、高校時代をバレーボール一色で過ごしました。

中学1年の時、6年生で母親のクラスだった子と同じ中学校に通うことになり、「里吉先生は、よく戦争を題材にした本を読んでいたよ。でも、いつとも途中で泣いちゃうんだ」という話を聞いた時は、少しはずかしかったけれど、「平和を子どもたちに伝えたい」という母の気持ちが伝わってききました。このエピソードは私の宝物です。

学生時代

大学では社会学を専攻、図書館司書の資格をとりました。旅行サークルに入会し、青春18キップや周遊券を使って、安く旅行することをモットーに、日本各地を旅行しました。毎日大学が終わるとバイト、休日もバイトでお金をため、長期休みには旅行に出かけ

るという4年間でした。

サークルの仲間と、沖縄の西表島で一週間キャンプした時は、ジャングルみたいで本当に日本は広いなあ！と感動。沖縄本島から石垣島行きの船は、台湾への国際船に早代わり。北海道の奥尻島でもキャンプ。サークルの旅行だけでは飽き足らず、一人旅にも出かけました。

学生時代唯一の海外旅行は中国。約1ヶ月の女二人旅で、往復の飛行機と初日のホテルしか予約せずに出発。お金はないが時間だけはあったので、移動はすべて汽車。道を聞いた中国人の学生さんと友だちになり、「餃子が食べたい」といったら、「餃子は家で作って食べるもの。家においで」といって、家族中でもてなしてくれました。(次号に続く)



北海道・奥尻島で

1967年八王子市生まれ。2003年4月から世田谷区議3期。2013年7月から都議、文教委員会副委員長、消費生活対策審議委員。家族は夫と一男、猫